

対話型案内サービスを活用した地域健康増進プロジェクト 報道機関向けデモンストレーションの実施について

浜松市では、浜松地域（市役所及び地域企業）と全国のスタートアップとの連携を推進するマッチングプラットフォーム「ハマハブ！」を令和6年度から運用しています。令和7年度ハマハブ！伴走支援プロジェクト採択事業者「株式会社シルバコンパス」がウェルネス推進事業本部と連携し、「対話型案内サービスを活用した地域健康増進プロジェクト」を下記のとおり実施しています。

このたび、報道機関向けデモンストレーションを下記の通り開催いたしますので、取材方よろしくお願ひします。

記

1 プロジェクトの概要・目的

普段会話することのできない元トップアスリートとのデジタル・グリーティング(※)を通して、若年層が楽しみながら健康について興味や関心を持つきっかけづくりを行う。ジュビロ磐田 CRO 山田大記氏の「AI アバター」との対話体験を通じて、市民に健康意識を高めていただくとともに市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の利用者数の増加を目指す。

※デジタル・グリーティング：動画等のデジタルデータを活用したコミュニケーション

2 報道機関向けデモンストレーション

- ・日 時：2025年12月23日（火）10：30～10：45
- ・場 所：イオンモール浜松市野 2F アーノルドパーマー前
（静岡県浜松市中央区天王町字諏訪 1981-3）

3 プロジェクト詳細 ※別添チラシ参照

タイトル：「ジュビロ磐田 CRO の山田大記さんとデジタル：グリーティングしよう！」

●スマートフォン版：個人のスマートフォンから好きなタイミングで会話ができる。

・実施期間：2025年12月23日（火）から2026年3月31日（火）

●大型ディスプレイ版：等身大の元トップアスリートと話しているような体験ができる場を提供。

・場 所：イオンモール浜松市野 2F アーノルドパーマー前
（静岡県浜松市中央区天王町字諏訪 1981-3）

・実施期間：2025年12月23日（火）から2026年3月1日（日） ※会場の営業時間に準ずる

4 伴走支援プロジェクトについて

マッチングプラットフォーム「ハマハブ！」から生まれたプロジェクトのうち、行政課題や企業課題の解決に資する比較的事業規模の大きなプロジェクト（事業規模800万円程度）を選定し、伴走支援を行うことで事業化など社会実装に繋げていく。

なお、採択プロジェクトには、補助金（上限400万円・対象経費の2分の1以内）に加え、事務局がロードマップ策定や相談対応、PR支援などを実施する。

ハマハブ！Web サイト：<https://www.hamahub.com/>



5 はままつ健幸クラブについて

浜松市民に日々の健康活動をサポートする市公式ヘルスケアアプリ。

日々のウォーキングや市の健康イベントへの参加、体重・血圧の記録などの健康活動を行うと、ポイントが付与され、浜松の特産品などが当たる抽選に参加できる。

【「はままつ健幸クラブ」ダウンロード】

iPhone 版 App Store

Android 版 Google Play



アプリ（イメージ）

6 株式会社シルバコンパスについて

- 代表者：代表取締役 安田 晴彦 氏
- 設 立：2019 年 9 月
- 所在地：静岡県浜松市中央区鍛冶町 100 番地の 1 ザザシティ浜松中央館 B1F
- 企業概要：実在の人物を収録してリアルアバターを作成し、本人と会話しているようなコミュニケーションを実現するサービス「Talk With」の開発・提供をする。「新発見へ、“トーク”で導く。」をミッションに、「“ファン”であふれた世界をつくる。」をビジョンに掲げる。

7 お問い合わせ先

（本プロジェクトに関すること）

- ウエルネス推進事業本部
- 電話番号：053-457-2129
- メ ー ル：wellness@city.hamamatsu.shizuoka.jp

（マッチングプラットフォーム「ハマハブ！」に関すること）

- スタートアップ推進課
- 電話番号：053-457-2825
- メ ー ル：vs-sangyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp